

# 御所市 人権問題に関する市民意識調査結果 概要版

## ■調査概要

- 調査時期：令和6年1月15日（月）～令和6年2月6日（火）
- 調査方法：郵送による配布、郵送とWEBでの回収（無記名）
- 調査対象：令和5年11月1日の住民基本台帳より、無作為に抽出した18歳以上の住民1,000人（有効配布数：993件）
- 回答状況：422人（42.5%）
- ・内訳：郵送での回答者(350人 82.9%)WEBでの回答者72人 17.1%)

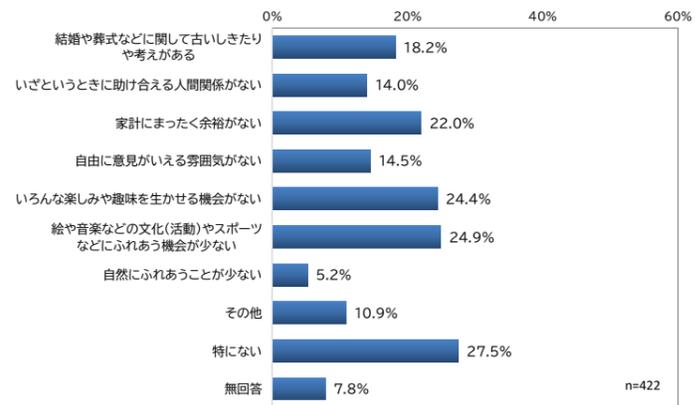
## ■回答者属性（※無回答を除く）

- 性別：男性(39.8%)、女性(53.1%)、選択しない(2.4%)
- 年齢：18～19歳(0.9%)、20～29歳(5.7%)、30～39歳(5.0%)、40～49歳(8.8%)、50～59歳(12.8%)、60～69歳(19.7%)、70歳以上(41.9%)
- 居住小学校区：御所小学校区(20.6%)、葛小学校区(4.7%)、秋津小学校区(36.5%)、掖上小学校区(7.3%)、葛城小学校区(4.3%)、名柄小学校区(5.0%)、大正小学校区(13.0%)
- 職業（上位3項目）：無職（学生、家事などを含む）(42.2%)従業員25人以上の民間企業に勤めている(18.5%)、自営業を営んでいる、またその手伝いをしている(10.7%)
- ※留意点：本資料のグラフの数値は、全て%表示です。小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。単数回答の設問はSA、複数回答はMAと表記しています。「n」は、各設問の母数を示しています。

## ◆日常生活の感じ方、今の社会や自分自身に対する考え方について

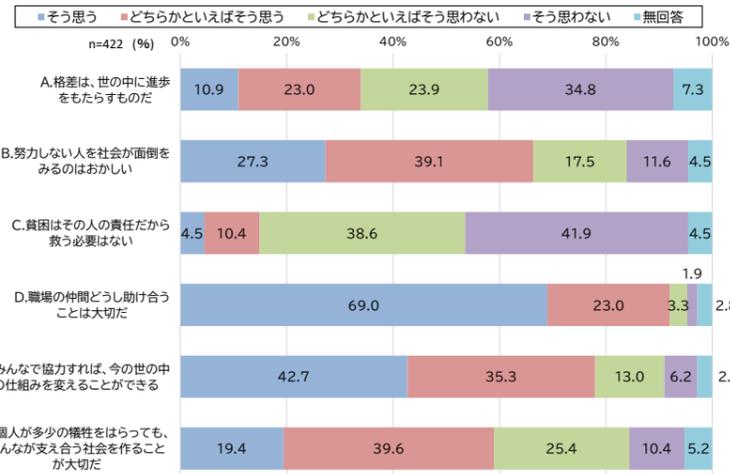
問1 あなたが御所市に住んでいて「暮らしにくい」と感じることはどのようなことですか。(MA)

■「特にない」の割合が27.5%と最も高く、次いで「絵や音楽などの文化（活動）やスポーツなどにふれあう機会が少ない」の割合が24.9%、「いろんな楽しみや趣味を生かせる機会がない」の割合が24.4%、「家計にまったく余裕がない」の割合が22.0%となっています。



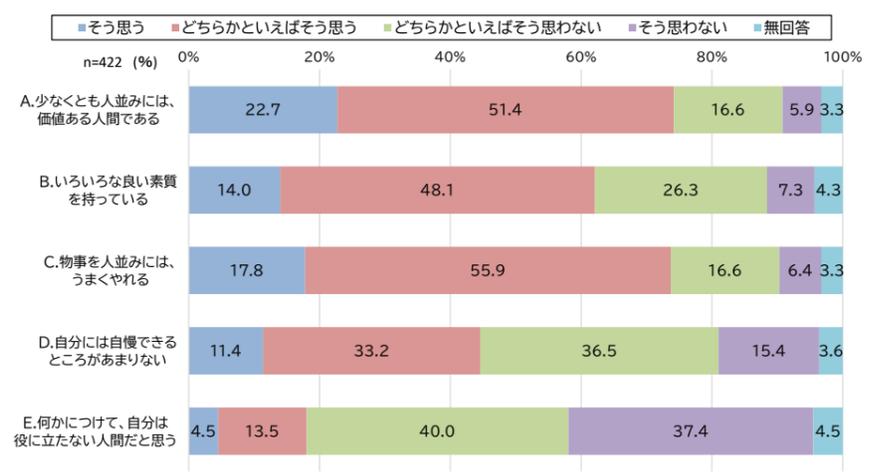
問2 今の社会について次のような意見があります。それについて、あなたはどのように思いますか。(SA)

■「D. 職場の仲間どうし助け合うことは大切だ」について、9割の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



問3 あなたは自分自身をどのような人間だと思いますか。(SA)

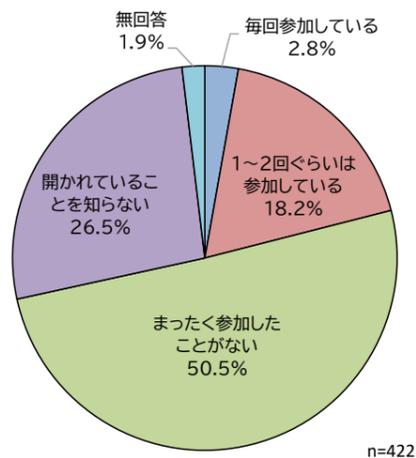
■「A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である」と「C. 物事を人並みには、うまくやれる」について、7割の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



## ◆人権学習経験について

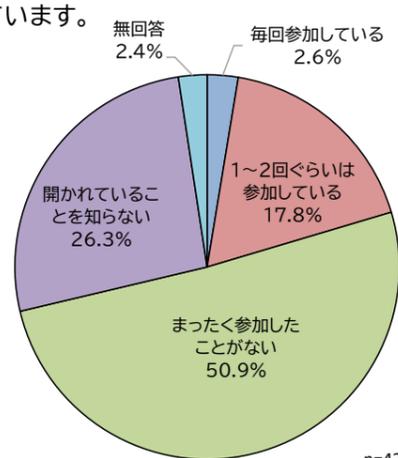
問4(1) あなたは、最近3年間で市が主催する「差別をなくす市民集会」に参加されたことがありますか。(SA)

■「まったく参加したことがない」の割合が50.5%、「開かれていることを知らない」の割合が26.5%となっています。



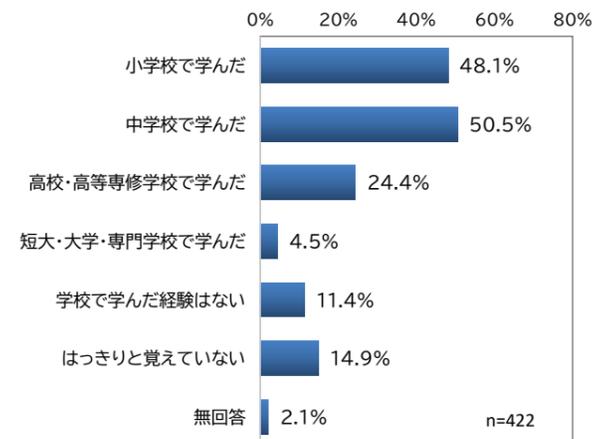
問4(2) あなたは、最近3年間で人権教育推進協議会が主催する「校区・地区別学習会(人権問題講演会等)」に参加されたことがありますか。(SA)

■「まったく参加したことがない」の割合が50.9%、「開かれていることを知らない」の割合が26.3%となっています。



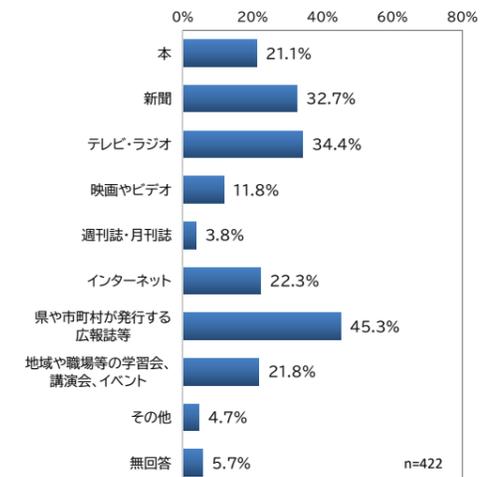
問5 あなたは、同和問題や他の人権問題について、学校の授業等で学習したことがありますか。(MA)

■「中学校で学んだ」の割合が50.5%、「小学校で学んだ」の割合が48.1%となっています。



問6 あなたが人権問題について学習したり、知識を得たりするためによく利用するものはどれですか。(MA)

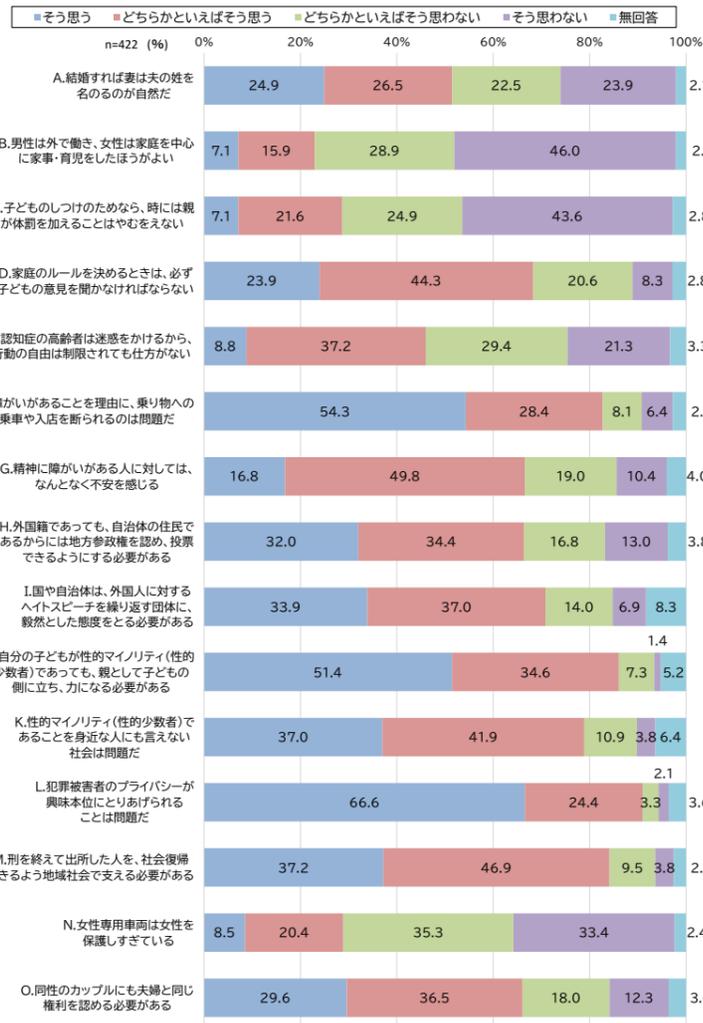
◆「県や市町村が発行する広報誌等」の割合が45.3%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」の割合が34.4%、「新聞」の割合が32.7%となっています。



◆ 人権に対する考え方やボランティアの経験について

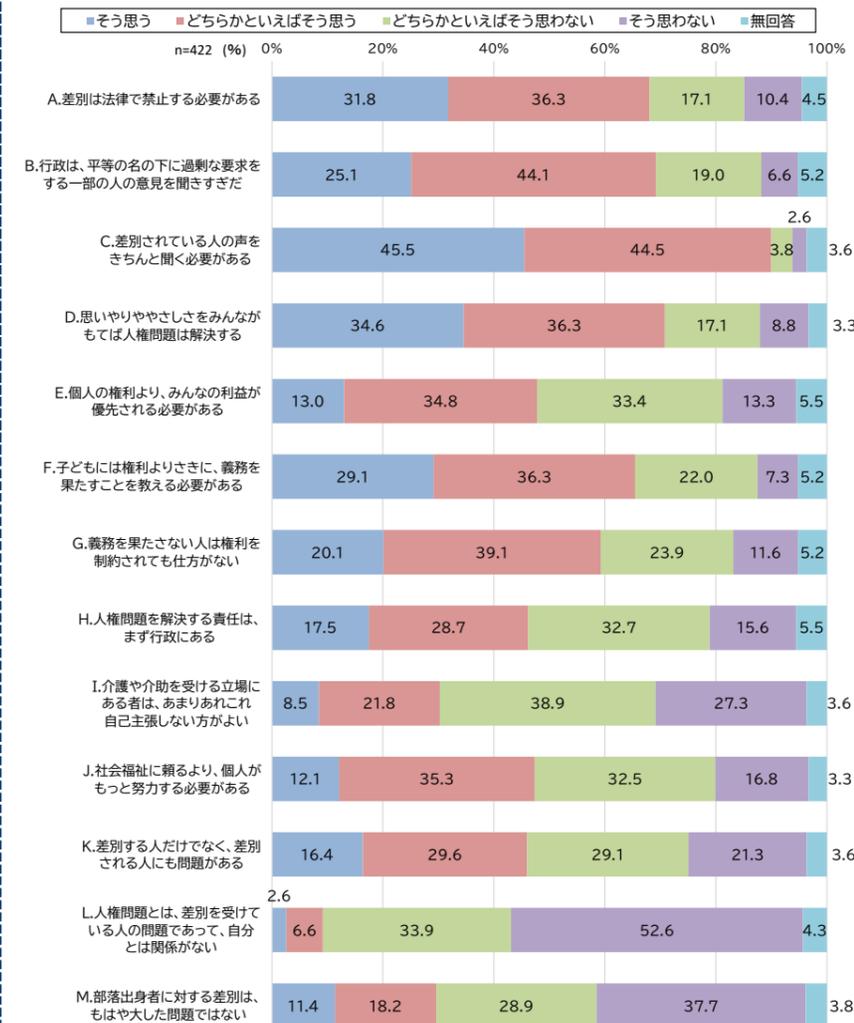
問7 人権や差別をめぐるいろいろな考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(SA)

■「L. 犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ」について、9割の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



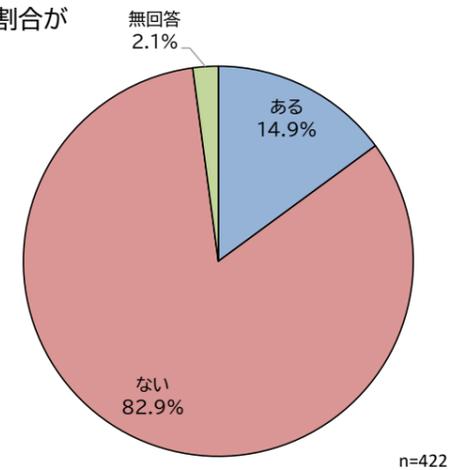
問8 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。(SA)

■「C. 差別されている人の声をきちんと聞く必要がある」について、9割の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



問9 あなたはこの1年間で、障がい者や高齢者の自立支援や、子どもの見守り、防災活動や救済活動などのボランティア活動に参加した経験はありますか。(SA)

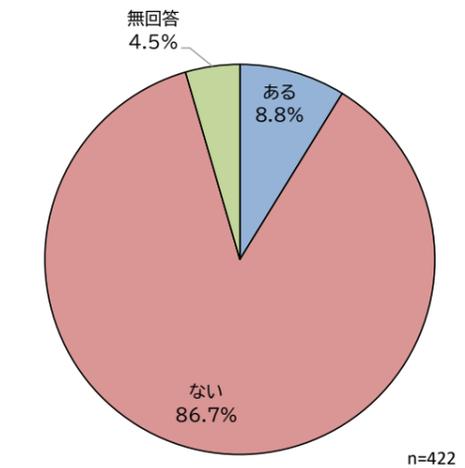
■「ない」の割合が82.9%、「ある」の割合が14.9%となっています。



◆ 人権侵害の経験について

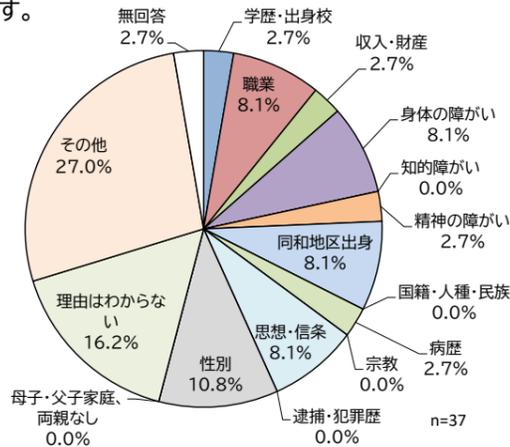
問10 最近5年間で自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(SA)

■「ない」の割合が86.7%、「ある」の割合が8.8%となっています。



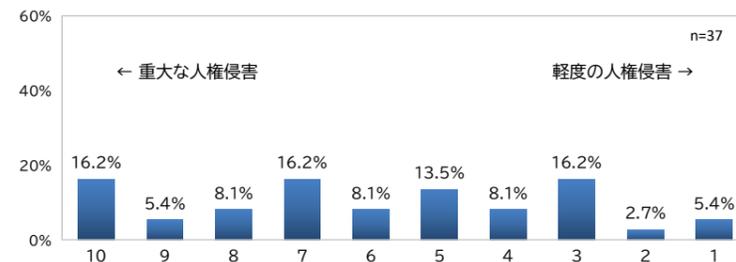
問10-1 最近5年間で自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(SA)

■「その他」の割合が27.0%、「理由はわからない」の割合が16.2%となっています。



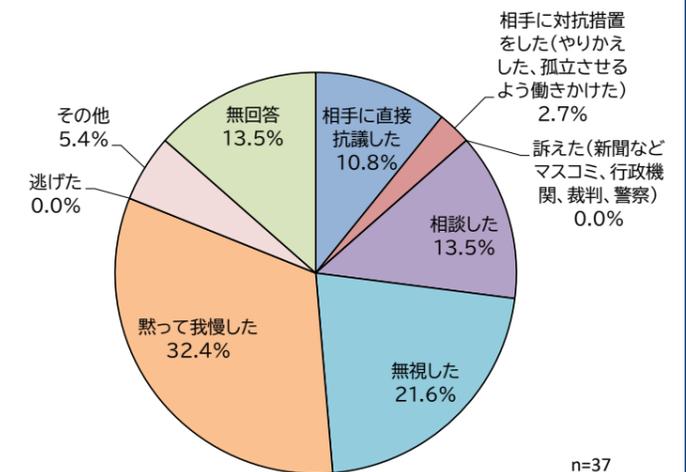
問10-2 問10-1で回答した人権侵害は、あなたにとってどの程度のものだったでしょうか。何らかの形で公的に処罰する必要があると感じるほどである場合を「10」、不快に感じた程度の場合を「1」として、あてはまるとされる数字1つに○印をつけてください。(SA)

■重大な人権侵害では「10」と「7」の割合、軽度の人権侵害では「3」の割合が16.2%となっています。



問10-3 問10-1で回答した人権侵害を受けた時、あなたはどのように対応しましたか。(SA)

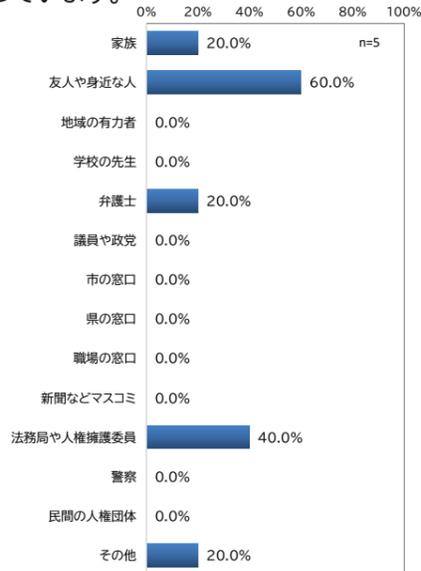
■「黙って我慢した」の割合が32.4%、「無視した」の割合が21.6%、「相談した」の割合が13.5%となっています。



◆ 人権侵害の経験について (つづき)

問10-4 (問10-3 で「4.相談した」を選択) そのとき、誰に相談されましたか。(MA)

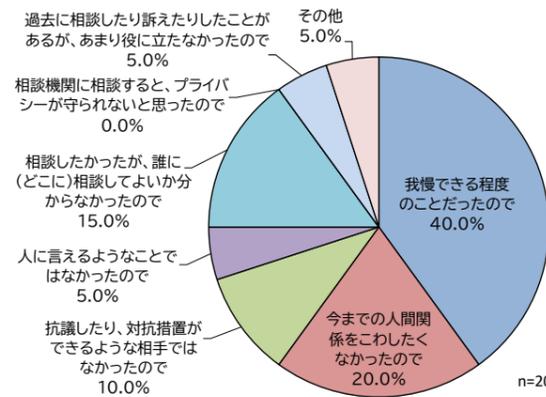
■「友人や身近な人」の割合が 60.0%、「法務局や人権擁護委員」の割合が 40.0%となっています。



問10-5 (問10-3 で「5.無視した」「6.黙って我慢した」「7.逃げた」を選択)

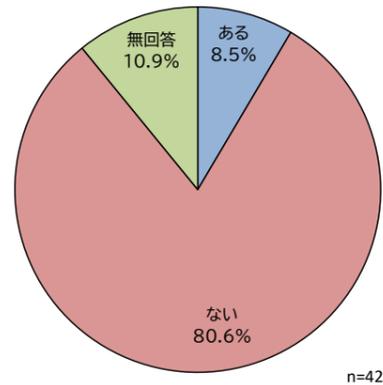
そのようにされた理由は何でしょうか。(SA)

■「我慢できる程度のことだったので」の割合が40.0%と最も高く、次いで「今までの人間関係をこわしたくなかったので」の割合が20.0%、「相談したかったが、誰に(どこに)相談してよいか分からなかった」の割合が15.0%となっています。



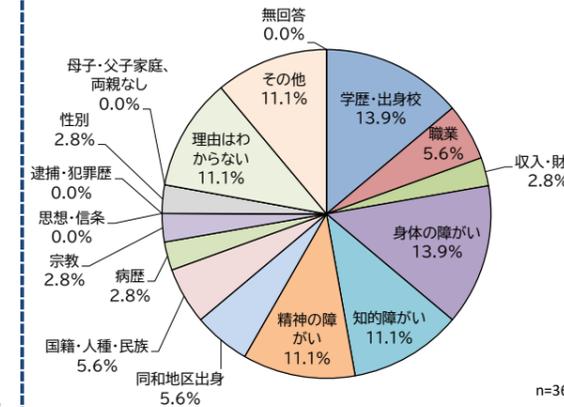
問11 最近5年間で、あなたのご家族や周りの方(御所市在住)の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(SA)

■「ない」の割合が80.6%、「ある」の割合が8.5%となっています。



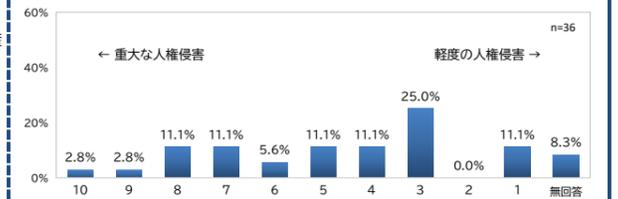
問11-1 その人権侵害(最も印象に残っている経験1つ)は、どのようなことを理由にしたものでしたか。(SA)

■「学歴・出身校」、「身体の障がい」の割合が13.9%、「知的障がい」と「精神の障がい」と「理由はわからない」と「その他」の割合が11.1%となっています。



問11-2 問11-1で回答した人権侵害は、あなたにとってどの程度のものでしたでしょうか。何らかの形で公的に処罰する必要があると感じるほどである場合を「10」、不快に感じた程度の場合を「1」として、あてはまると思われる数字1つに○印をつけてください。(SA)

■軽度の人権侵害で「3」の割合が25.0%となっています。

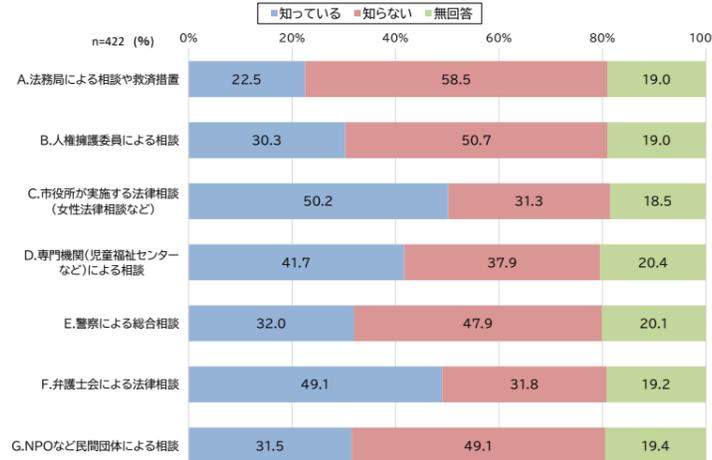


◆ 人権侵害に対する相談や救済について

問12 人権を守るための制度などについて、あなたは知っていますか。(SA)

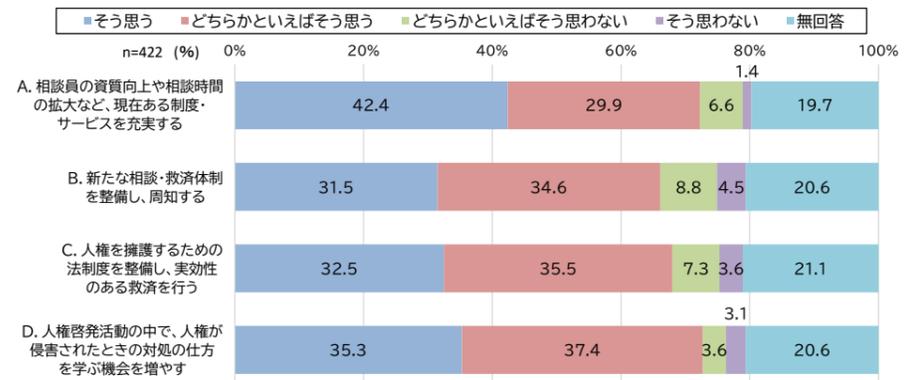
■「C. 市役所が実施する法律相談(女性法律相談など)」と「F. 弁護士会による法律相談」について、約5割の方が「知っている」と回答しています。

■「A. 法務局による相談や救済措置」、「G. NPOなど民間団体による相談」、「E. 警察による総合相談」について、約5割の方が「知らない」と回答しています。



問13 人権侵害に対する相談や救済に関する次の事項について、あなたは必要だと思いますか。(SA)

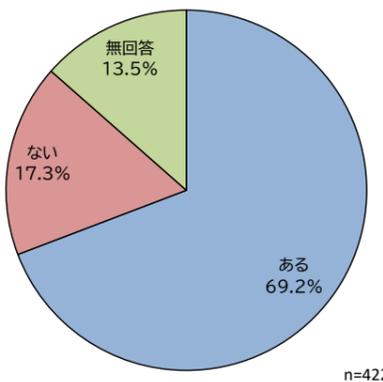
■全ての項目で、約7割の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



◆ 分野別の人権課題について

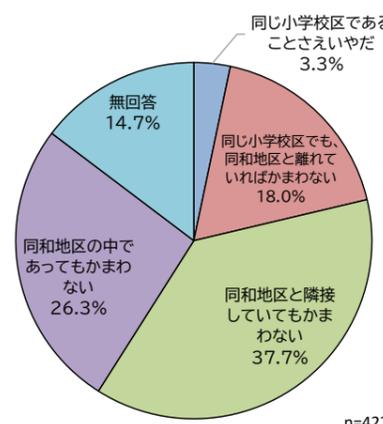
問14 あなたはLGBTQ(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クィスノン)あるいは性的マイノリティ(性的少数者)の言葉を聞いたことがありますか。(SA)

■「ある」の割合が69.2%、「ない」の割合が17.3%となっています。



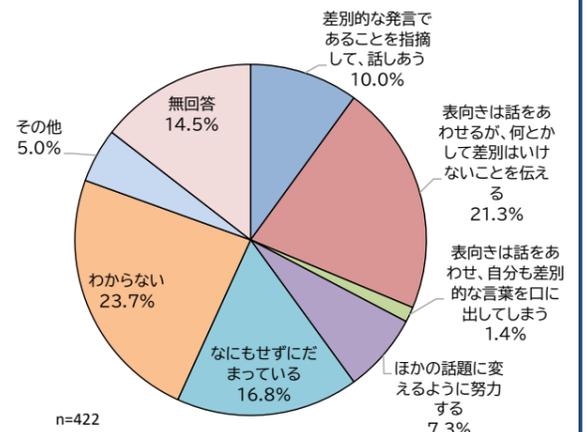
問15 あなたが住宅をさがしていて、気に入った物件があったとします。後(のち)に、そのあたりに同和地区があるとわかったとき、あなたはどのように思いますか。(SA)

■「同和地区と隣接していてもかまわない」の割合が37.7%、「同和地区の中であってもかまわない」の割合が26.3%となっています。



問16 あなたが住宅をさがしていて、気に入った物件があったとします。後(のち)に、そのあたりに同和地区があると聞いたとき、あなたはどのように思いますか。(SA)

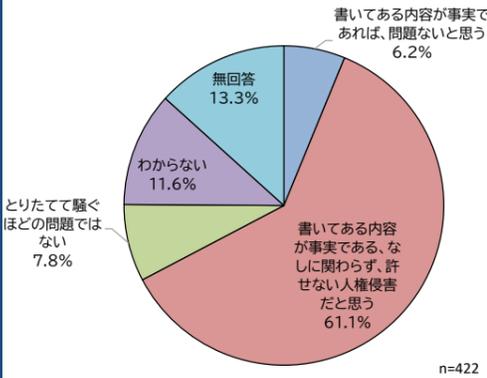
■「わからない」の割合が23.7%、「表向きは話をあわせるが、何とかして差別はいけないことを伝える」の割合が21.3%となっています。



◆ 分野別の人権課題について (つづき)

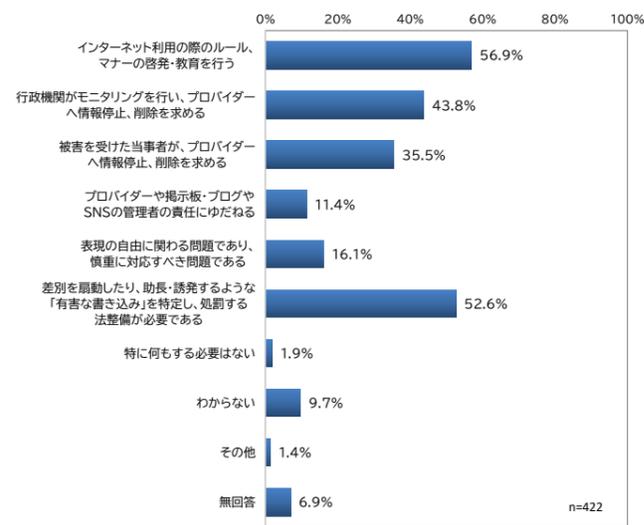
問17 インターネット上では、個人名などを取り上げた、差別的な書き込みや、悪口などを暴露する書き込みがあります。あなたは、このような書き込みについて、どう思いますか。(SA)

■「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」の割合が 61.1%となっています。



問18 インターネット上の差別的な書き込みや個人情報などが世間に広まることなどの問題を改善するために、どうすればよいと思いますか。(MA)

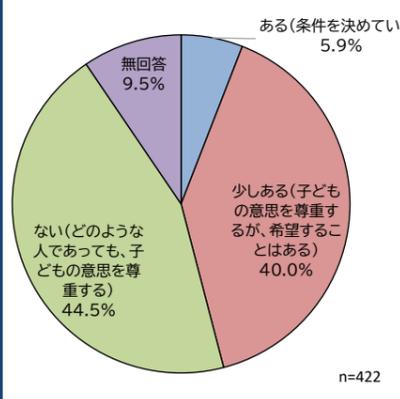
■「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う」の割合が56.9%と最も高く、次いで「差別を扇動したり、助長・誘発するような「有害な書き込み」を特定し、処罰する法整備が必要である」の割合が52.6%、「行政機関がモニタリングを行い、プロバイダーへ情報停止、削除を求める」の割合が43.8%となっています。



◆ 結婚について ◆

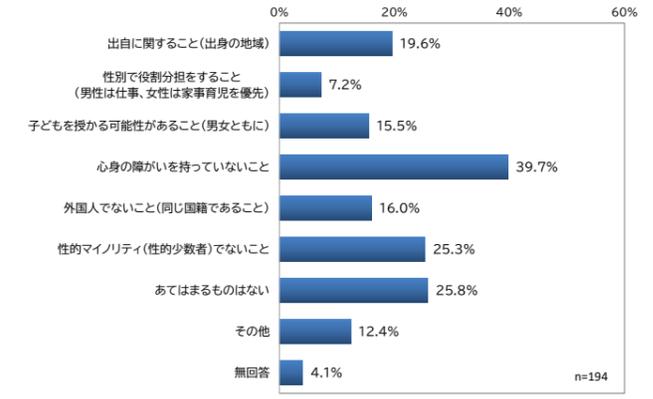
問19 あなたにお子さんがいた場合(いない場合も、子どもがいると想定して)、お子さんの結婚相手(未婚のパートナーを含む)に求めることはありますか。(SA)

■「ない(どのような人であっても、子どもの意思を尊重する)」の割合が44.5%、「少しある(子どもの意思を尊重するが、希望することはある)」の割合が40.0%となっています。



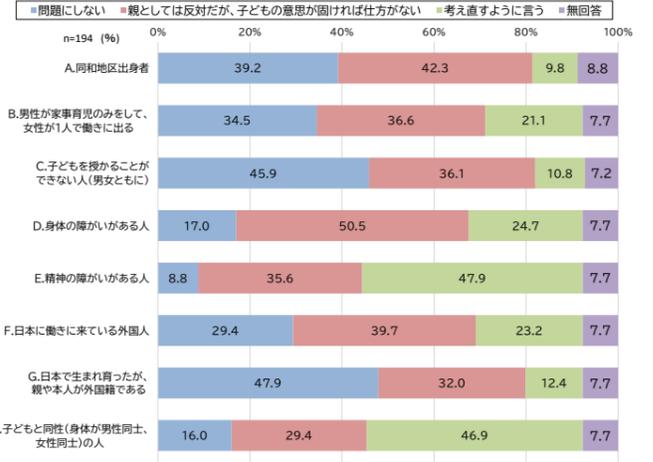
問19-1 (問19で「1.ある」「2.少しある」を選択) お子さんの結婚相手(未婚のパートナーを含む)に求める条件をお聞かせください。(MA)

■「心身の障がいを持っていないこと」の割合が39.7%と最も高く、次いで「あてはまるものはない」の割合が25.8%、「性的マイノリティ(性的少数者)でないこと」の割合が25.3%となっています。



問19-2 (問19で「1.ある」「2.少しある」を選択) 結婚相手(未婚のパートナーを含む)が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。(SA)

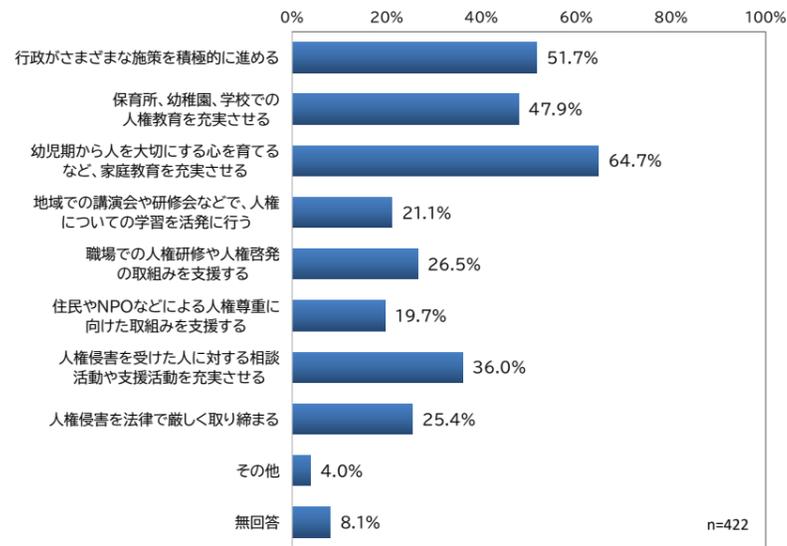
■「E. 精神の障がいがある人」や「H. 子どもと同性(身体が男性同士、女性同士)の人」に対しては約5割の方が「考え直すように言う」と回答しています。



◆ 人権尊重社会をつくるための取組について

問20 人権が尊重される社会を実現するために、あなたは、今後どのような取組が必要だと思いますか。(MA)

■「幼児期から人を大切に育てるなど、家庭教育を充実させる」の割合が64.7%と最も高く、次いで「行政がさまざまな施策を積極的に進める」の割合が51.7%、「保育所、幼稚園、学校での人権教育を充実させる」の割合が47.9%となっています。



◆ 人権に関する法律や条例について

問21 人権侵害に対する相談や救済に関する次の事項について、あなたは必要だと思いますか。(SA)

■「C. 児童虐待防止法(2000年)」、「D. DV防止法(2001年)」、「H. いじめ防止対策推進法(2013年)」について、6割以上の方が「知っている」「内容は知らないが名称は知っている」と回答しています。

